令和８年

京都市立大宮小学校

家庭学習のヒント



☆大宮のみなさんへ　家庭学習のすすめ☆

毎日の学習で大切なことは、学校での授業を力いっぱいがんばることです。そして学習したことがしっかり身につくよう、家でも学習をして、学校での学びとつなげることで「より確かな学びの力」が身につきます。

大宮小学校のみなさん、どうか、学校で楽しく元気に力いっぱい学び、家でも元気にがんばり、学習をしましょう。そして、つづけましょう。学校は、みなさんをせいいっぱい応援しています。



めざせ！おおみやっ子

毎日の生活習慣を大事にする。

☆　早寝・早起き・朝ごはん
☆　規則正しい生活
☆　時間を守る
☆　気持ちのいい挨拶・返事
☆　正しい言葉づかい
☆　よい姿勢
☆　まわりの人、友達への思いやりのある言葉と行動

学習に集中できる場所をつくる。

☆　決まった場所で
☆　整理整とんした場所で
☆　一定の時間を決めて
☆　「～しながら」はやめる（テレビは消そう）

すきなもの，興味があるものなどについて調べたりまとめたりする。

☆　教科書を読みなおす。
☆　図鑑や本で調べる。
☆　インターネットでも調べる。
☆　調べてわかったことを家の人、先生、友達、など周りの人に教える。

家で勉強する時間のめやすです。「読書」も勉強に入ります！！

１年生・・15分～20分	２年生・・20分～30分
３年生・・40分～45分	４年生・・45分～60分
５年生・・70分～75分	６年生・・75分～90分

この時間以上、集中して家で勉強することができるよう、宿題の他に読書や自主学習などをどんどんやってみよう。

☆保護者の皆様　家庭学習のすすめ☆

毎日の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校では、「考える楽しさ」「分かるよろこび」「やりとげた成就感」を実感できる授業をめざして、学習内容が定着するよう日々努力していますが、家庭学習とつなげることで「より確かな学力」が身に付くと考えます。そこで、本校では「基本的な生活習慣」の一つとして、また、「確かな学力の定着」として、この「大宮小学校　家庭学習のヒント」を子どもたちに提示しました。

保護者の皆様には、お子さんと一緒にご覧いただき、ご協力いただきますようお願いします。本校は、家庭学習を通して以下の通りの子どもの姿を期待しています。学校と家庭で協力・連携し、子どもたちに確かな力を付けることができるよう努力していきたいと考えています。ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



家庭学習を習慣化する３つのポイント

1 基本的な生活習慣を身に付けさせる

☆　早寝・早起き・朝ごはん
☆　規則正しい生活
☆　時間を守る
☆　気持ちのいい挨拶・返事
☆　正しい言葉づかい
☆　よい姿勢
☆　自分や人を大切にする
　　言動と行動を行う

2 学習環境を整え集中できるようにする

☆　決まった場所で
☆　整理整とんした場所で
☆　一定の時間を決めて
☆　「～しながら」はやめる
　　（テレビは消す）

3 がんばりを認め励ましほめる

☆　子どもがやる気になることばを積極的にかける
「がんばっているね。」
「ていねいに書いているね。」
「前より上手になったね。」
「よく考えているね。」
「集中しているね。」
「この問題がとけて、すごい。よく調べたね。また教えてね。」等

１ねんせい

1年生では、こんなことができるようになろう

○　おおきな　こえで、　ほんが　よめる。
○　ひらがなや　カタカナが　よめる。かける。
○　ならった　かんじが　よめる。かける。
○　えんぴつを　ただしく　もって　じが　かける。
○　じゅんじょよく　はなせる。かける。
○　「は」「を」「へ」を　ただしく　つかって　ぶんが　かける。
○　たしざんや　ひきざんが　できる。
○　とけいを　みて　じこくが　いえる。



しゅくだい

☆　おんどく（ゆっくり　はっきり　おおきく　こえを　だして　よもう。）
☆　もじのれんしゅう（ひらがな・カタカナ・かんじ→よくみて）
☆　さんすうのもんだい（ドリル・プリント・きょうかしょ　など）
☆　どくしょ

しゅくだいのほかに　こんなこともしてみよう

○　あした　がっこうで　べんきょうするところを　みる。
（きょうかしょ）
○　どくしょをする。⇨どくしょのうとに　ほんのなまえをかく。
（ほんを　よんで　もらっても　いいですね。むかしばなしも　いいですね。）
○　きょうかしょを　かきうつす。
○　けいさん、かんじなどを　れんしゅうする。
○　えにっきや　にっきを　かく。
○　じてんや　ずかんで　しらべる。
○　いきものや　くさばなを　かんさつする。
○　いえの　ひとの　おてつだいをする。



２年生

２年生では，　こんなことができるようになろう

○　大きな声で本が読める。
○　「、」や「。」に気をつけて、すらすら読める。
○　ならったかん字を正しく読める。正しい書きじゅんで書ける。
○　じゅんじょよく話せる。
○　「はじめ・中・おわり」の組み立てに気をつけて文を書くことができる。
○　たし算、ひき算ができる。
○　九九が言える。
○　正しくものさしをつかい、線をかくことができる。
○　きめられた長さの直線をかくことができる。



しゅくだい

☆　音読（ゆっくり、はっきり、大きく声を出してよもう。）
☆　かん字のれんしゅう（よく見て、正しい書きじゅんで）
☆　算数のもんだい（ドリル・プリント・教科書　など）
☆　読書　　☆日記　　☆ミライシード

しゅくだいのほかに　こんなこともしてみよう

○　明日、学校でべんきょうするところを見る。（教科書）
○　読書をする。（読んでもらってもいいですね。シリーズを読むのもいいですね。）⇨どくしょノートに読んだ本の名前を書く。
○　教科書の文や問題を書きうつす。
○　ならったかん字をつかって文を書く。
○　ひっ算などの計算をする。
○　九九をおぼえる。（あがり九九・さがり九九、ランダム、など）
○　三角形や四角形をしらべる。かく。
○　じてんや図かんでしらべる。
○　生きものや草花をかんさつする。
○　家の人のお手つだいをする。



３年生

３年生では，こんなことができるようになろう

○　音読を習慣にする。（主人公の気持ちや場面の移り変わり，段落のつながりに気を付けて）
○　習った漢字を正しく読める。正しく書ける。　○　ローマ字が読める。
○　国語辞典を正しく使える。　○　地図の見方や地図記号が分かる。
○　書こうとすることの中心を大切にして，目的に合う文章を書くことができる。
○　わり算ができる。　○　コンパスを正しく使うことができる。
○　はかりを使って重さを読むことができる。
○　いろいろな三角形のちがいを分かることができる。
○　タンギングに気を付けてリコーダーをえんそうすることができる。



宿題

☆　音読（学習しているところ。声を出して読みましょう。）
☆　漢字練習（習った漢字を正しく練習しよう）
☆　算数の問題（ドリル・プリント・教科書　など）
☆　読書　　☆ミライシード

しゅくだいのほかに　こんなこともしてみよう



○　明日、学校で勉強するところを読む。
○　読書をする。（詩や俳句なども読んでみよう。）
○　教科書をよく見て書きうつす。
○　習った漢字を使ってたくさんの文をつくって書く。
○　作文や日記を書く。（今日の出来事・うれしかったこと・自分や友達のいいところ・行事のふりかえり・詩・俳句・本の紹介・読書感想文など）
○　辞典や百科事典、図鑑で「不思議だなと思ったこと」「知りたいこと」などを調べる。　　○国語辞典でわからない言葉の意味を調べる。
○　いろいろな図形をかく。算数の文章問題をつくる。
○　まちがった問題や分からなかった問題をやり直す。テストでまちがったところをもう一度やりなおす。
○　生き物や草花を観察する。　○理科や社会、算数などこれから学習する教科書のページを読む。　　○家の人のお手伝いをする。

４年生

4年生では，こんなことができるようになろう

○　音読を習慣にする。（主人公の気持ちや場面の移り変わり、段落のつながりに気を付けて）
○　短い詩やことわざを覚える。
○　習った漢字を正しく読むことができる。正しく書くことができる。
○　漢字辞典を正しく使うことができる。
○　４７都道府県の名前と位置が分かる。
○　段落相互の関係や文章の構成に注意して、文章を書くことができる。
○　小数を理解し、計算をすることができる。
○　分度器を正しく使うことができる。
○　図形の面積を求めることができる。求め方を工夫することができる。
○　わり算の筆算をすることができる。
○　タンギングに気を付けて、リコーダーをえんそうすることができる。



宿題

☆　音読（学習しているところ。声を出して読みましょう。）
☆　漢字練習（習った漢字を正しく練習しよう）
☆　算数の問題（ドリル・プリント・教科書　など）
☆　読書　　☆自主学習　　☆ミライシード

宿題が終わったら，進んで取り組んでみよう



○　明日、学校で勉強するところを、教科書などを読んで予習する。
○　百人一首や詩を暗唱する。
○　読書をする。（詩や俳句なども読んでみよう。）
○　読書感想文を書く。本の紹介文を書く。
○　教科書の文章や算数の文章問題や答え、理科や社会など、よく見て書き写す。
○　学校で学んだことを復習する。
○　日記を書く。（今日の出来事・うれしかったこと・自分や友達のいいところ・行事のふりかえり・詩・俳句・考えたこと・自分で考えた物語など）
○　いろいろなドリルに取り組む。
○　漢字辞典や国語辞典で言葉の意味や漢字の意味、文字についてなどを調べてまとめる。
○　辞典や百科事典、図鑑で知りたいことや不思議に思うことなどを調べる。
○　いろいろな図形をかく。調べる。　　○国旗や都道府県を調べてまとめる。
○　まちがった問題や分からなかった問題、テストで間違えたところなどをやり直す。
○　生き物や植物を観察する。記録をとる。○習った漢字を使って文をたくさんつくる。
○　社会科や理科の疑問⇒インターネットで調べる。　○　家の手伝いをする。

５年生

５年生では，　こんなことができるようになろう

○ 音読から朗読へ。（気持ちをこめ、間を考えて）
○ 古典を読むことができる。　○ 伝記を読み、考えることができる。
○ 学習した漢字・熟語の読み書きができる。文の中で使える。
○ 国語辞典・漢字辞典・インターネット・百科事典・統計資料などを使って調べる。
○ 新聞を読んだり書いたり、調べて考えたことを文章にまとめたりすることができる。
○ 分数のたし算、ひき算、整数や小数を分数になおすことができる。
○ 割合・百分率を使った問題を解くことができる。
○ 小数のかけ算・わり算ができる。　○ 情報の役割や生かし方、注意点が分かる。
○ 日本の国土や産業の特色が分かる。○ 国土の特色を生かしたくらしがわかる。
○ 実験で使う器具の使い方を知り、めあてをもって実験をすることができる。
○ 生命のつながりや生命の誕生について、わかることができる。



宿題

☆ 漢字練習（漢字学習ノート、漢字ノートなど）
☆ 算数の問題（ドリル、プリント、算数の教科書など）
☆ 読書
☆ 自主学習　　☆ミライシード

宿題が終わったら，進んで取り組んでみよう

○ 明日やこれから、学校で勉強するところを教科書を読んだり問題を解いたりして予習をする。
○ 百人一首や詩、俳句を書き写したり暗唱したりする。
○ 俳句を読んで、作者の意図や意味を考え、書く。
○ 俳句をつくる。つくった気持ちも書く。
○ 読書をする。（伝記・ノンフィクション・漢詩なども読んでみよう）
○ 作家にこだわって本を選び、読書をする。 ○ 読書感想文を書く。
○ 教科書の文章や算数の文章問題や答え、理科や社会、気に入った詩などをよく見て書き写す。
○ 学校で学んだことを、教科書やノートをもとにして復習する。
○ 文章の構成や、伝えたいことを考えて作文や紹介文を書く。
○ 日記を書く。（今日の出来事・うれしかったこと・自分や友達のいいところ・学校や地域のいいところ・行事のふりかえり・詩・俳句・考えたこと・自分で考えた物語など）
○ いろいろなドリルに取り組む。　○ いろいろな図形をかく。もようにする。
○ 辞典や百科事典、図鑑、インターネットで意味、知りたいこと、不思議を調べる。
○ ニュースや新聞を見て、内容（要点）や考えたことを書く。新聞を切抜き、読んでわかったことや考えたことを書く。
○ まちがった問題や分からなかった問題、テストでまちがえたところををやり直して、しっかり確かめる。　○ 生き物や植物を観察する。記録をとる。
○ 家族の一員として自分の役割・仕事を見付けて継続して取り組む。

６年生

６年生では，こんなことができるようになろう

○ 音読から朗読へ。（気持ちをこめ、間を考えて、文章に対する自分のおもいを意識して）
○ 古文を読むことができる。　○短歌を読んだりつくったりすることができる。
○ 随筆を読んだり書いたりすることができる。
○ 学習した漢字・熟語の読み書きができる。文の中で使うことができる。
○ 国語辞典・漢字辞典・インターネット・百科事典・統計資料など必要な図書や資料を選んで調べることができる。
○ 新聞を書いたり、調べたことを文章にまとめたりすることができる。
○ 分数のかけ算・わり算をすることができる。
○ 比例・反比例など数量関係を整理して考えることができる。
○ 憲法や政治の働きを知り、自分の生活とつなげて考えることができる。
○ 歴史上の人物や出来事について調べたり説明したりすることができる。
○ 実験や観察の結果から考察し、分かりやすく表現することができる。
○ 生物と環境との関わりを知り、考えることができる。



宿題

☆ 漢字練習（漢字学習ノート・漢字ドリル・新出漢字・習った漢字をくり返し）
☆ 算数の問題（ドリル、プリント、算数の教科書など）
☆ 読書
☆ 自主学習　　☆ミライシード

宿題が終わったら，進んで取り組んでみよう

○ 明日やこれから学校で勉強するところを、教科書を読んだり問題を解いたりして予習をする。
○ 百人一首や詩、俳句、短歌などを書き写したり暗唱したりする。
○ 短歌や俳句の意味や作者の意図を考え、書く。　○ 短歌や俳句をつくり、気持ちも書く。
○ 読書をする。（歴史・名作文学・漢文・ノンフィクション・科学なども読んでみよう）
○ 作家やシリーズにこだわって本を選び、読書をする。
○ 読書感想文を書いたり、おすすめの本や絵画、映画などの解説文を書いたりする。
○ 教科書の文章や算数の文章問題や答え、理科や社会、気に入った詩などをよく見て書き写す。
○ 歴史について調べて考えたことを書く。
○ 歴史上の人物について調べ、年表や出来事、その人物のしたことや時代についてまとめる。
○ 学校で学んだことを、教科書やノートをもとにして予習・復習する。
○ 作文や紹介文、日記（今日の出来事・うれしかったこと・自分や友達のいいところ・学校や地域のいいところ・行事のふりかえり・詩・俳句・考えたこと・自分で考えた物語など）を書く。
○ いろいろなドリルに取り組む。　○ いろいろな図形でもようをかく。調べる。
○ 辞典や百科事典、図鑑、インターネットで、意味、知りたいこと、不思議を調べる。
○ ニュースや新聞を見て、内容（要点）や考えたことを文章にまとめる。
○ まちがった問題や分からなかった問題、テストでまちがえたところをやり直してしっかり確かめる。
○ 観察や実験をして、写真を撮ったり記録をとったりする。
○ 料理のレシピをくわしくまとめる。
○ 家族の一員として自分の役割・仕事を見付けて継続して取り組む。



☆読書活動のすすめ　ー読書習慣をつけるー　☆

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。しかし、テレビ、ビデオ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。そこで、大宮小学校では読書の持つ計り知れない価値を大切にするため、子どもの読書活動を応援したいと考えています。学校では読書についてよさを伝え、読書の機会や時間をつくっていくとともに、ご家庭でも、子どもたちの読書をする環境づくり、子どもたちへの声かけなど、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



低学年・中学年・高学年それぞれの読書について

小学校１年生・２年生の読書

１年生や2年生の子どもたちは、想像を広げて読書を楽しむことができます。お話の世界に入り、泣いたり、笑ったり、喜んだりすることができます。１年生には、たくさんの絵本と出会わせたいと思います。また、言葉のおもしろさが味わえる本、１年生でも読める少し厚みのある本とも出会わせたいと思います。昔話もたくさん読んでほしいです。2年生には、絵本だけでなく、『きつねの子』（もりやまみやこ/作）『すみれちゃん』（石井睦美/作）『ふたりはともだち』（アーノルド・ローベル/策）のようなシリーズを読む時期です。ぜひ、シリーズを読むことによって見えてくる登場人物どうしの関係やその変化、厚みのある物語の展開など、その楽しさを実感できるようにしたいと思います。

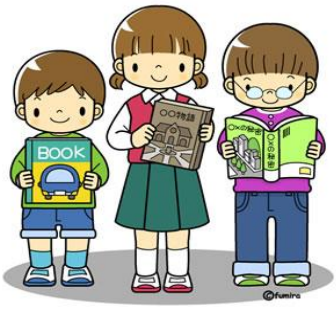
『本を読みたい』というおもいをもっている子どもたちに、大好きになる本とふれあう機会を多くもたせてあげたいと考えています。『リンゴかもしれない』『りゆうがあります』『ふまんがあります』『ぼくのニセモノをつくるには』（ヨシタケシンスケ/作）『パンどろぼう』（柴田ケイコ/作）などは、楽しく読めるので、子どもたちは「本っておもしろい」と感じることができるかもしれません。大宮小学校の図書館では、本が大好きになり、言葉と心を育むことができるすてきな本をたくさん集めるとともに、読み聞かせを通して「お話の世界」を楽しめるように努力しています。お家でも、積極的に図書館に行って本をたくさん借りるよう、お声かけいただければと思います。

絵本について

小学校低学年の読書でたくさんの絵本と出会うことは、たくさんの物語と出会うことになります。この時期に本に親しむことは、これからのすすんで本を読もうとする、読書生活のよい態度につながります。また、小学校入学前にくり返し読んでもらってきた絵本は、子どもたちにとって入学してからも最良の読書の友となります。丸暗記するほどなじみのある絵本は、いつまでも、どこへいっても親しい仲間です。絵本は「読み聞かせ」をするためにつくられている、とも言われています。おうちの人と一緒に、おうちの人が読み聞かせをすることは、低学年の子どもにとって、読書意欲を刺激するとっておきの薬となることでしょう。学校でも、積極的に「読み聞かせ」の機会をつくっていこうと考えています。

子どもが、くり返し自分で絵本を読んでいる姿を見たら、ほめてあげてほしいと思います。国語の教科書に掲載されているお話も、ぜひ、原作の「絵本」で読んでみてください。「どくしょノート」を子どもたちに配布しています。そこには、読んだ本の名前を記録するページがあります。低学年は、１年間で１００冊をめざして記録することを楽しみます。文字を習っていなくても、本の表紙を「見て書く」ということが大切です。文字の形を覚えることができるので、ぜひ、書くように励ましてあげてください。

小学校３年生・４年生の読書



好奇心が旺盛で、面白そうなことや楽しそうなことが大好きな３年生や4年生の読書では、楽しい本をすすめたいと思います。また、読む力も低学年に比べてうんとのびた子どもたちには、本の世界やジャンルをうんと広げることができます。主人公の性格に着目して読むことができるので、ユニークで面白い主人公の本を楽しんで読むことができます。物語の世界に入りこんで、主人公と一緒にその世界を楽しむ姿も期待できます。『車のいろは空のいろ』（あまんきみこ/作）『エルマーのぼうけん』シリーズのようなファンタジー作品を楽しんで読む姿も期待できます。

そのほかにも、『はれときどきぶた』（矢玉　四郎/作）『大どろぼう　ホッツェンプロッツ』（プロイスラー/作）『チョコレート戦争』（大石　真/作）『ヒキガエルとんだ大冒険』（ラッセル・E・エリクソン/作）『魔女の宅急便』（角野栄子/作）『きまぐれロボット』（星　新一/作）『黒ねこサンゴロウ１旅のはじまり』（竹下文子/作）など、少し厚みがあるけれど、文字が比較的大きい、面白いお話である、シリーズで読んでも楽しい、などの本もおすすめです。「厚い本だけど読めた！」という経験は、高学年の読書へのやる気につながるでしょう。また、『大ピンチずかん』（鈴木のりたけ/作）『おもしろい！進化のふしぎ　ざんねんないきもの事典』（今泉忠明/監修）『最強王図鑑』（建部伸明/監修）のシリーズは、子どもたちに人気です。夢中になって、本を読む楽しさを味わうことができるのではないでしょうか。

ファンタジーについて

ファンタジーには、様々なジャンルがあり、その中の二つのかたちには、「日常に入りこむ不思議を描く物語」「日常から不思議な世界に出かけていく物語」があります。日常という現実のすぐ隣にある不思議な世界観を読むことにより、子どもの心は楽しんだり、夢を見たり、救われたりすると考えます。

また、ファンタジーのもつ大きな力の中には、「ものごとの別の見え方」を示す力もあります。ファンタジーを読んだ後に、ものごとがいつもと違って見えてきたり、今まで見えていなかったものが見えてきたりしてくる、というような想像力が育てば、自分の住む世界とは違う世界を受け入れることや、自分とは違う人のおもいに共感することも出来るようになってきます。豊かな想像力はきっと、心の成長につながっていくことと期待します。したがって、ファンタジーの本を読むことによって、子どもたちが共感をもって他者と交わることのできる楽しい世界を見つけることができると思います。

本のすすめかた（例）

「これ、すごくおもしろいよ。」「読んだら笑っちゃった。」「ハラハラドキドキするお話なんだって。」「登場人物が〇〇で、〇〇な子どもなんだって。」など、感想やあらすじ、登場人物などについて一言伝えることで、子どもは興味をもつことができるようです。「〇〇が、～するお話でおもしろいよ。」など、少しないようにふれて、紹介してみましょう。お子さんと一緒に読むこともよいと思います。「一緒に読もうよ。」と伝えてみましょう。感想を家族で交流することは、中学年から習慣づけると、高学年になっても、話しやすくなります。家族で、「本の帯」や後のページの「解説」「あとがき」を参考にして、一緒に本を選ぶことも、子どもの読書意欲を高めることにつながると考えます。

学校の図書館を利用しましょう。また、市の図書館を利用しましょう。市の図書館では、本を一人１０冊借りることができます。家族4人なら40冊借りることができます。読みたい本を予約することができます。そして、1か月1回、移動図書館「こじか号」が大宮小学校の駐車場に来校します。

小学校５年生・６年生の読書

高学年になると、本が好きな子どもと本に対して苦手意識をもつ子のちがいがみえてきます。しかし、一人一人の個性を大切にして、その子が必要とする本を幅広いジャンルからすすめていきたいと思います。ノンフィクション―伝記、歴史物、科学、エッセイ、スポーツなど―の本に興味をもち、これらの本を読んだ経験は中学・高校生にもつながっていきます。

野球の好きな子どもは、野球に関する本や実用書、生き物が好きな子どもは、生き物に関する本や科学的読み物など、「知りたい」「興味がある」という本を手に取るようにするとよいと思います。目的をもって読み物を選んで読む力を付けていくこの時期に、子どもたちが楽しみながら自分の生き方を考えるきっかけとなる本を見つけられたらよいですね。伝記、ノンフィクションには、事実に基づいた物語があり、子どもたちの心をとらえるとともに、大人が読んでも夢中になります。事実の背後にひそむ驚異と感動にあふれた“物語”が描かれているので、ぜひ読んでほしいと思います。事実の羅列である年表や地図、記録集のようなものにも強い興味をもち、集中して読もうとする子どももいます。また、５年生や６年生の読み物は、ただ面白いだけでなく、心が大きく動かされる内容の深い豊かな物語の世界を楽しむことができます。読み応えのある文学作品との出会いも応援したいと思います。『「ぼくら」シリーズ』（宗田理/作）『少年探偵・怪人二十面相』（江戸川乱歩/作）『チョコレート工場の秘密』（ロアンド・ダール/作）などはいかがでしょうか。『ふしぎ駄菓子屋　銭天堂』（廣嶋玲子/作）は大変人気があります。



他にも、「作家にこだわって」本を選ぶのもおすすめです。高学年の子どもたちには、重松清、草野たき、戸森しるこ、富安陽子、いせひでこ、上橋菜穂子、星新一、宮沢賢治、あさのあつこ、といった作家の本がおすすめですが、岡田淳は、とても人気があり、読んで「楽しい」と感じる子どもが多いようです。文庫本に親しむ姿もこの時期によく見られます。文庫本のエッセイ「ものかんづめ」（さくらももこ作）なども、夢中になって読む姿も見られます。ぜひ、子どもにすすめてみましょう。また、文庫本には、子どもたちと同世代の主人公が様々な経験を通して、悩み、考え、また、前に向かって歩き出す、といった内容の物語をとりあげているものが多くあります。きっと、子どもたちの背中を押してくれる「応援団」になってくれるでしょう。

名作児童文学　小説について

『星の王子さま』『モモ／時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にかえしてくれた女の子のふしぎな物語』『大きな森の小さな家』『飛ぶ教室』『若草物語』など、時代を超えて世界中の子どもたちに読みつがれてきたロングセラーの名作物語は、５・６年生のころまでに完訳で読んでおきたい本です。さらに大人になってから読み返してみると、自分の成長の道筋や今の自分がよく見えます。



また、この時期に本の楽しさを理解させるもっとも良い方法は、大人が、自分が子どものころに感動した作品を教えてあげたり読んであげたりすることです。５、６年生の子どもでも、『走れメロス』や『坊ちゃん』などを毎日少しずつ読んでもらえば、本がどれほど面白くて楽しさを語りかけるものであるかが分かるのではないでしょうか。

どの学年にもおすすめ

科学の本もおすすめ

低学年・中学年・高学年でおすすめする「科学の本」とは、学校の理科や社会などの学習にすぐに役に立つ知識を盛り込んだ本のことではありません。幼児向きの「科学の絵本」と同じように、子どもたちの知的好奇心に答え、動植物、体と心、宇宙、数学、くらしと遊び、歴史、ことば、哲学など、森羅万象を新鮮な目でとらえ、深い内容を楽しく豊かに表現した本のことです。そのような本は、子どもの想像力と行動力を大きく広げます。

日頃のニュースなど、科学に関する時事問題に意識を向けるように、子どもたちを促していただくと、子どもたちの興味・関心の幅が広がり、様々なジャンルの本を手にとることにつながります。



科学や知識についての本　この本はいかがでしょうか

【低学年】

・どうぶつのからだ　これ、なあに？なんのたまご？　/いまいずみただあき　監修
・ふゆめがっしょうだん　/ともなりただお・もぎとおる　写真　　ちょうしんた　文
・はるを　さがしに　/久保秀一　写真　　七尾純　文
・スミレとアリ　/多田多恵子　監修
・石はなにからできている？　/にしむらひさお　文　　たけだしんいち　写真
・だれだかわかるかい？　むしのかお　/今森光彦
・たねはいのちのおわりとはじまり　/鈴木純
・ぐっすり　すっきり　ニンニンニン　朝から元気な子のひみつ　/野井真吾　監修

【中学年】

・ファーブル昆虫記　/アンリ・ファーブル
・ポリぶくろ、Ｉまい、すてた　/ミランダ＝ポール
・すごいね！みんなの通学路　/ローズマリー＝マカーニー
・神様の階段　/今森光彦
・ゾウの森とポテトチップス　/横塚眞己人　写真・文
・「はやぶさ」がとどけたタイムカプセル　/山下美樹
・「あかつき」一番星のなぞにせまれ！　/山下美樹
・あの絶景のひみつ　/増田明代
・自然に学ぶくらし　①自然の生き物から学ぶ　/石田秀輝
・冬眠のひみつ　からだの中で何が起こっているの？　/近藤宣昭　監修

【高学年】
・文化のちがい 習慣のちがい2 ことばとものの名前 /須藤健一
・はかって、へらそうCO_2 1.5℃大作戦 /公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
・海のプラスチックごみ調べ大事典 /保坂直紀
・池上彰と考える フェイクニュースの見破り方 /池上彰
・シートン動物記 /アーネスト・T・シートン
・あるヘラジカの物語 /星野道夫 原案
・海の中から地球を考える /武本匡弘
・考えよう!やってみよう!フェアトレード /渡辺龍也 監修・著
・宇宙から伝える心のメッセージ 瑠璃色の星 /山崎直子
・世界にほこる日本の先端科学技術 ここまできている!IPS・遺伝子・脳研究 /
法政大学自然科学センター監修

おすすめの本について

学年に応じて、本を準備するのがよいのでは、と考えます。子どもたちに配布している「読書ノート」には、おすすめの本のリストが載っています。また、国語の教科書の、学習の最後のページには「この本、読もう」と題して、その教材に関連した本が掲載されています。また、国語の教科書の最後の方のページにも「この本、読もう」「本の世界を広げよう」と題して、それぞれの学年に応じたおすすめの本の表紙と本の紹介が掲載されています。物語だけでなく、科学的読み物や情報に関するものなど幅広いジャンルが示されており、一人一人の子どもたちにとって、「大好きになる本と出会う」きっかけとなるのでは、と考えます。子どもたちと、ぜひ、読んでみて、お気に入りの本を見つけるようにしてください。



Omiya elementary school since2026~